





# eurofins



## 防爆構造電気機械器具型式検定合格証

発行者：ユーロフィンズ・イーアンドイー・シーエムエル・リミテッド ユニット1、ニューポートビジネスパーク、ニューポートロード、エレスメアポート CH65 4LZ 英国		
申請者	東京都品川区東品川1丁目2番5号 日本エマソン株式会社	
製造者	ROSEMOUNT Tank Radar AB Layoutvägen 1 Mölnlycke, 43533 Sweden	
品名	レーダーレベルゲージ	
型式の名称	5900 詳細は別紙1のとおり	
防爆構造の種類	本質安全防爆構造	
対象ガス又は蒸気の 発火度及び爆発等級	IIC T4 Ga IIC T4 Ga/Gb	
製品上の Ex マーキング	Ex ia IIC T4 Ga Ex ib IIC T4 Ga/Gb IP66、IP67 周囲温度：-50 °C ~ +80 °C	
定 格	別紙2のとおり	
使用条件	別紙3のとおり	
型式検定合格番号	<b>CML 17JPN2301X</b>	
有効期間	2018年01月09日 から 2021年01月08日まで	
	2021年01月09日 から 2024年01月08日まで	

機械等検定規則による型式検定に合格したことを証明する

2021年01月09日

型式検定実施者：ユーロフィンズ・イーアンドイー・シーエムエル・リミテッド主任検定員



別紙 1 型式

**5900abcdefghijklmnpq**

- a = 製品説明: C 又は S.
- b = 性能 : 1桁の英数字
- c = 安全認証 : 1桁の英数字
- d = 冗長性 : 2、F、1、Z
- e = 通信 : F、Z
- f = 防爆に関する証明書 : I4 (日本・本質安全防爆)
- g = 取引用計量器型式認定 : 1桁の英数字
- h = レーダー測定方法 : 1桁の英数字
- i = ハウジング : A、S、Z
- j = ケーブル/電線管接続部: 1、2、G、E、M、Z

k = アンテナ:	1A	1P	1H	G1、G2 G4	1C	1F	11	12	ZZ
l = アンテナサイズ:	5, 6, 8, A, B	F, X	8, X	A, B, D, X	3, 4, 6, 8, A, X	4, 6, 8, A, X	2, 0, 3, 4 , X	3, 4, 6, 8, X	Z
m = アンテナ材質:	S	S	S	S	S, H, T, M, Y	S	S	S	Z
n = タンク密封:	FF, HH, FK, HK	PF, PK	PV	QA, PT	PV, PK, QV, QK	PV, PK, QV, QK	PV, PK, QV, QK	PV, PK, QV, QK	ZZ
o = タンク接続:	5A, 6A, 8A, AA, BA, KA, LA, MB, XX	WE, CL	8A, 8Z, LA, LZ, XX	1B, 2A, 2B, 3A, 3B 4A, 4B, 4C, 6A, 6B, 6C, 8A, 8B, NA, OA, PA, PB XX	3A, 3B, 4A, 4B, 4T, 6T, 8T, 6A, 6B, 8A, 8B, AA, BA, IA, IB, JA, JB, JT, KA, KB, KT, LA, LB, MT, 00, XX	4A, 6A, 8A, AA, 4X, 6X, 8X, AX, JA, KA, LB, MB, JX, KX, LX, MX, 00, XX	2A, 2B, 3A, 3B, 4A, 4B, HB, IA, IB, JA, JB, 00, XX	3A, 3B, 4A, 4B, 6A, 6B, 8A, 8B, IA, IB, JA, JB, KA, KB, LA, LB, 00, XX	ZZ
p = 特殊:	0, C, V, X	0, V, X	0, V, X	0, V, X	0, 1, 2, 3, X	0, X	1, X	0, 1, 2, 3, 4, X	Z
q = 防爆構造に影響を及ぼさない複数桁の英数字									
注記 : 型式コード k, l, m, n, o, p, q は別の銘板でアンテナ部に表示される場合がある									

## 別紙 2 定格

### エネルギーエンティティパラメータ

Ui: 30 V  
 Ii: 300 mA  
 Pi 1.3 W  
 Ci 1.1 nF  
 Li 1.5 μH.

### FISCO エンティティパラメータ

Ui: 17.5 V  
 Ii: 380 mA  
 Pi 5.32 W  
 Ci 1.1 nF  
 Li 1.5 μH

## 別紙 3 使用条件

- i. 容器にはアルミニウムが含まれており、衝撃及び摩擦による潜在的発火リスクが存在する。EPL Gaとして据付ける場合は、据付及び使用時に衝撃又は摩擦を防止するよう注意すること。
- ii. 非金属表面及び塗装されたハウジングの表面には、極限条件下において点火可能なレベルの帯電が生じる場合がある。静電放電を防止するために適切な措置を講じること。
- iii. 使用者は、機器銘板上のチェックボックスを使用して、固有の据付けに該当する防爆構造に永久的な方法でチェックマークを付けること。一旦チェックマークを付けた後は、変更してはならない。
- iv. Ex ib Ga/Gbとして据付ける場合、EPL GaとEPL Gbを分ける隔離壁の材料は、選択するアンテナによって材質が異なる。各アンテナの材料に関しては管理図 D9240040-917を参照のこと。材料が、隔離壁に悪影響を及ぼし得る環境条件を受けないようにすること。
- v. 最大プロセス温度は下表のとおり。

オプション n = タンクシールの場合	Oリングのタイプ	プロセス温度範囲
PV、QV	Viton	-15 °C～+180 °C
PK、FK、HK、QK	Kalrez	-20 °C～+230 °C
PE、QE	EPDM	-40 °C～+110 °C
PB、QB	BUNA-N	-35 °C～+90 °C
PM、FF、HH、QM	FVMQ	-60 °C～+155 °C
PF、QF	FEP	-60 °C～+180 °C